

日大藤沢同窓会報

第37号

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校同窓会
事務局:〒252-0885
藤沢市亀井野1866
TEL.0466-81-0123
FAX.0466-83-2161
発行責任者 市川 和広
編集 会報作成委員会

頑張っている 日藤生を応援しましょう

同窓会会長 市川 和広



今年(2023年)は楠本文雄校長先生はじめ、学校関係者にご臨席いただき、四年ぶりに同窓会役員会懇親会を開催することができました。役員同士の親睦や先生方との交流が図られたこと大変嬉しく思います。引き続き、歴史と伝統ある日藤同窓会の活動をPRし、多くの卒業生の皆様に同窓会活動に気軽に参加していただけるよう役割とします。

「グローバル化の進展、多文化共生、円安、物価高など、私たち大人にとっても数年先をしっかりと見通すことが難しい時代となっています。縁あつて日大藤沢高等学校、中学校で学ばれている日藤生には、この変化の激しい時代を生き抜く力を学園生活の中で少しでも身に付けていただきたいと思っています。」

先日仕事で海外に行つたときに、海外の学生は母国語以外にも英語や日本語を勉強している、日本人である私に母国語ではない日本語で、その学生は自分の将来の夢を語ってくれました。日本の中学生や高校生で、母国語以外で自分の将来にやりたいことや夢を話せる人がどれくらいいるのだろうか。私は今の日藤生が卒業して社会に出た際に、このような海外の人たちと渡り合わなければならないと考えた時、同窓会としても学校や先生方と協力をしながら、視野が広い、グローバルでインターナショナルな考え方が出来る人材を育てるための協力をしなければならぬと強く感じました。

また、同窓会としては運動部・文化部の部活動に対しても、その活躍ぶりを同窓生の皆様にしっかりと伝えたいと考えています。2023年8月の全国高校総合体育大会(インターハイ)では、日大藤沢水泳部女子チームが学校対抗得点で2019年以来的総合2連覇を達成しました。ウェイトリフティング部三

井謙虎選手は、重量挙げ男子67キロ級トータルで優勝しました。11月12日に行われた102回全国高等学校サッカー選手権大会神奈川県選抜において、日大藤沢サッカー部が神奈川県代表として2年連続7度目の選手権出場を決めました。

このように多くの日藤生が頑張っています。活躍しています。同窓生の皆様、是非応援のほど宜しくお願い申し上げます。2024年のお正月

援いたしました。日藤生ならびにご家族、保護者、ご関係の皆様にもお立ち寄りいただきました。私たち、日本大学藤沢高等学校中学校同窓会は、現役生徒を応援、サポートするためにあります。そして、卒業生誰もが集まれる会であり、同窓会などを開催する場合には補助等も出させていただきます。おりましたので、日藤同窓生の輪を広げてくださいますようお願い申し上げます。

「世界にはばたけ」

校長 楠本 文雄



「豊かな人間性」を備えた生徒の育成を目指して教育活動を行つています。平成21年には藤沢中学校が、平成27年には藤沢小学校が開校されました。これにより高校中学校小学校が連携した藤沢学園(日大藤沢)として、さらに発展することが期待されています。さて、日本財団では、18歳の若者が何を考え、何を思っているのか、継続して調べる意識調査を行っています。2022年、18歳意識調査の環として成人年齢の引下げと日本米(国産)・中国・韓国・インド6カ国の若者を対象にした「国や社会は「強くなる」の合計が

45.5%で最下位、「変わらない」が33.6%で最多。「経済」「科学技術」どちらについても中国は「強くなる」の合計の割合が6カ国中で最も多く、次いでインドが多い。「軍事防衛」の競争力についても、日本は「強くなる」の合計が15.7%で最下位、「変わらない」が55.6%で最多。「文化・芸術」についても「強くなる」の合計が29.5%で最下位、「変わらない」が46.5%で最も多い。

日本は「自分には人に誇れる個性がある」「自分は他人から必要とされている」「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」「自分のしていることには、目的や意味がある」「自分の人生には、目標や方向性がある」で6カ国中最下位となった。また、日本は「強くなる」の合計が

「日々の生活で不安やうつを感じる」が65.3%で、6カ国中最も多い。日本は「国際社会でリーダーシップを発揮できる」「優れたリーダーがいる」「自分が目標とした人物がいる」で6カ国中最下位となった。また、日本は「機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う」で41.7%と、留学や他国での就労意向は最も低い。

自身の将来や目標に関する質問で、全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。特に「多少のリスクが伴っても、新しいことに挑戦したい」「多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい」は低く、5割を下回る。

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。特に「多少のリスクが伴っても、新しいことに挑戦したい」「多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい」は低く、5割を下回る。

令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)水泳部女子総合優勝! 水泳部男子総合2連覇! 水泳部男子総合2連覇! 水泳部男子総合2連覇!

祝

第102回
全国高校
サッカー
選手権大会

サッカー部

神奈川県予選優勝!

全国大会出場!

2面

令和5年度
全国高等学校
総合体育大会
(インターハイ)

水泳部女子総合優勝!

水泳部男子総合2連覇!

3面

硬式野球部/田上君 プロ野球読売巨人軍の育成ドラフト入り!!

6面

2024年度同窓会
総会・懇親会
のご案内

定例総会と懇親会を、生物資源科学部NUBSホール(予定)において開催いたします。総会の案内状がお手元に届かない場合があるかと思いますが、同級生およびクラブ活動等の卒業生をお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時 2024年5月下旬(予定)※
場所 総会・懇親会 日本大学生物資源科学部NUBSホール
または、本館棟 地下1階食堂(予定)※
会費 一人 3,000円

※開催日時及び開催場所につきまは決まりましたら、下記ホームページにてお知らせいたします。予めご了承ください。

お知らせ 同期会、クラス会など実施の際、通信費などの補助金が出ますので事務局までご一報ください。※開催の日時、場所、出席者人数、領収書などが必要です。

●ホームページ <https://www.fujisawa.hs.nihon-u.ac.jp/>

令和5年度 第102回 全国高校サッカー選手権大会

神奈川県 優勝！ 全国大会 出場

サッカー部

第102回 全国高校サッカー選手権大会 神奈川県予選会 成績

	日程	本校	結果	相手校	会場
3回戦	2023.10.21(土)	日大藤沢	6－0	厚木北	本校 NFグラウンド
準々決勝	2023.10.28(土)	日大藤沢	2－1	慶應義塾	日産小机フィールド
準決勝	2023.11.4(土)	日大藤沢	4－2	湘南工大附属	等々力競技場
決 勝	2022.11.12(日)	日大藤沢	1－0	桐蔭学園	ニッパツ 三ツ沢競技場



県予選VS 慶應義塾



県予選VS 湘南工大附属

令和5年度第102回全国高校サッカー選手権大会神奈川県2次予選が9月9日(土)から11月12日(日)に開催された。激戦区である神奈川県199校のなかで全国の切符1枚を争い、本校サッカー部は2次予選から出場し、昨年度に続く全国高校選手権出場、そして神奈川県予選の頂点をめざした。

決勝では延長戦の激闘を制し、神奈川県199校の頂点に立ち、昨年度に引き続き、7回目出場の全国高校サッカー選手権

高校サッカー 神奈川県予選

の切符を手にし、激戦区神奈川県代表として全国の頂点を目指す。

3回戦で厚木北高校に快勝し、準々決勝では慶應義塾高校と対戦、前半から、両サイドをワイドに使い、慶應義塾はしつかりとプロックを作り得点をいれることができない。この状況が前半終了まで続くと思われたが、終了前に慶應義塾に先制点を許してしまう。そして向かえた後半、前半同様に慶應義塾の堅い守りにより、崩すことに苦慮し

ていたが、前半とは違い運動性のある攻撃を繰り返す。試合が動いたのは後半残り10分、慶應義塾がラストパスを受けてGKと1対1の場面を作ることがオフサイドの判定になる。しかし、その直後、その背後を素早く使い、國分唯央君(3年)から右サイドバックの坂口康生君(3年)に繋ぎ、右サイドを突破。中央で岡田生都君(3年)が合わせて、同点。一瞬の隙をつき追いついき、その5分後に、再び岡田生都君が会津恒毅君(3年)とのコンビネーションから、ゴールネットを揺らし逆転に成功、試合はそのまま終了し、試合終盤の逆転劇で本校が勝利を収めた。前半は苦慮する場面があったが、選手が勝利を諦めない姿勢が勝因だった試合であった。

準決勝は昨年度の決勝であった湘南工大附属高校

と対戦、昨年度の戦いから今回も激闘が繰り広げられることになるのかと思いきや、一人の選手の大活躍により快勝する。この試合の主役は安場壮志朗君(3年)である。試合は前半9分、安場君(3年)が、左サイドから5尾野優日君(3年)のクロスを受け、華麗なヒールシュートで先制点を奪取、その後も安場君の勢いは止まらない。前半20分、左サイドのクロスからフアーサイドで山上大智君(3年)の折り返したボールをネットに突き刺し追加点。前半26分、左寄りエリア付近のフリーキックを直接決めて加点。このゴールで安場君はハットトリック達成した。一方で相手も前半34分に1点を返すが前半41分に、諸墨清君(3年)が安場君のクロスを受け、ビングヘッドで決めて、前半だけで4点を取り、再び突き放す。

後半も守りに入らず前線から湘南工科にプレッシャーをかけ続け。後半33分に1点を許すが、ベンチの選手を使いながら試合終了までプレッシャーをかけて勝利を手にした。この試合は安場君のポテンシャルの高さが際立つ試合であった。

そして、11月12日(日)向かえた決勝、ニッパツ三ツ沢球場で雨上がりの風が強い曇り空の中で相手は桐蔭学園高校、立ち上がり、本校は両サイドの選手がワイドに開き、中盤の選手も各々距離感を持ってピッチ全体を使いながら攻撃を仕掛け、桐蔭学園はボールサイドには人数をかけ、逆サイドにサイドハーフが張る。互角な展開で試合は進み、動いたのは前半20分、荻原大地君(3年)がエリア内でディフェンダーの背後を取り、山上大地君(3年)のループパスを受けてゴールキーパーと1対1の局面を冷静に決めて先制に成功。その後は10安場壮志朗君(3年)がフリーキックから惜しいシュートを打つなど追加点を狙いにくもゴールには至らず前半を終える。追加点が欲しい後半6分、ショイトカウンターから7佐藤春斗君(3年)がシュートを放つもこれはクロスバー直撃。後半半ばからは、桐蔭学園の猛攻が続き、セットプレーなどからゴール前でピンチを迎えるも、野島佑司君(3年)が好セーブなどで無失点に抑えた。この後も桐蔭学園



県予選決勝VS 桐蔭学園



の猛追を振り切り、前半の1点を死守し31年ぶりと化した両校による頂上決戦は1-0のまま試合終了、本校の優勝を飾り、見事全国大会の切符

を手にした。表彰式において戦い抜いた選手の誇らしげな姿が印象的であった。この後の全国大会も全力で頑張っていくことを期待したい。

第102回 全国高校サッカー選手権大会 全国大会 成績

	日程	本校	結果	相手校	会場
2回戦	2023.12.31(木)	日大藤沢	0－0 (PK 3－4)	近江(滋賀県)	等々力競技場



全国2回戦 (VS近江)

令和5年12月31日(日)、等々力競技場にて本校が2回戦で近江高校(滋賀県)と対戦。開始早々、試合が動いた。前半6分、宮崎達也君(3年)が自陣からフイーロを送ると安場壮志朗君(3年)がヘディングで左前方に展開していき、諸墨清平君(3年)がスペースに流れ、クロスを上げる。と、サイドから飛び込んだ16布施克真君(2年)がダイレクトで合わせてゴールネットを揺らし、先制点をあげた。以降も見せ場は続き、前半

全国大会レポート

33分にはミドルゾインでのボール奪取から相手ディフェンダーの背後にロングボールを展開。走り込んだ諸墨君がドリブルからフリーでシュートを放ったが、クロスバーに嫌われたとが得意な。続く前半38分には左サイドの岡田生都君(3年)がカットインシュートを放ったが2点目には至らない。非常



サッカー表敬訪問

にもどかしい状況の中、後半を迎える。ここから近江高校の猛攻が始まる。本校の選手もこの1点を死守する気迫で応戦。しかし後半13分に近江のこぼれ球のシュートが決まり、1-1になり試合が振り出しに戻る。同点に追いつかれた状況でも勝利を展望して試合を展開していく。その後双方の激しい争いがあつたが、追加点を取ることが出来ずにPK戦になる。1人目を近江にストップされ、その後4人目で全員が成功、近江の3人目をストップし、3-3、5人目が再び近江にストップされ、そして近江の5人目が決め、3-4で惜しくも敗れた。

神奈川県予選から全国大会2回戦まで十分な休みもなく戦い抜いた選手に心から拍手を送りたい。

令和5年度

水泳部

全国高等学校総合体育大会
(インターハイ)

女子総合優勝!

水泳の全国高校総体(インターハイ)が令和5年8月15日(火)から21日(月)にかけて、北海道の北海道立野幌総合運動公園水泳プールで開かれ、本校の女子チームが4度目の総合優勝に輝いた。総合得点は268.5点を獲得し、昨年度も優勝し2連覇した2019年以来2度目の栄冠である。

400mメドレーリレーや、50m自由形で溝口歩優さん(3年)、200m背泳ぎで山本千晶さん(2年)、200m平泳ぎで中澤海風さん(3年)、100mバタフライで平井瑞希さん(2年)が1位を含めた非常に優秀な成績を収め、顧問の植村弘先生から「2年生だけではなく、3年生がサポートやチームの雰囲気づくりをしてくれた。力以上のものを出した」と賛辞を惜しまない。

特に優勝に近づけたのは競泳女子400mメドレー決勝、ドレーリレー決勝、前回総合優勝のメダリストと国際大会代表の山本千晶さんと平井瑞希さん、の下級生を加えた充実の布陣で北の大地を席巻した。決勝では、第2泳者まで2位でつなぐと、「差を広げよう」と

1. 大会名：令和5年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
2. 日時：2023年8月15日～21日
3. 会場：北海道立野幌総合運動公園水泳プール
4. 競技結果 ◎女子

50m自由形	溝口 歩優 平井 瑞希	3-15 2-8	第1位 第6位
100m自由形	溝口 歩優	3-15	第4位
200m自由形	笹目 南帆 鈴木 遙	3-6 3-1	第4位 第13位
400m自由形	鈴木 遙	3-1	第13位
100m背泳ぎ	山本 千晶	2-1	第3位
200m背泳ぎ	山本 千晶	2-1	第1位
100m平泳ぎ	中澤 海風 石川 結菜	3-1 1-1	第4位 第10位
200m平泳ぎ	中澤 海風 石川 結菜	3-1 1-1	第1位 第13位
100mバタフライ	平井 瑞希	2-8	第1位
200mバタフライ	菅 心寧	2-4	第10位
200m個人メドレー	笹目 南帆 戸津川 莉央	3-6 2-1	第6位 第7位
4×100mフリーリレー	――	――	第1位
4×200mフリーリレー	――	――	第2位
4×100mメドレーリレー	――	――	第1位

強い思いで挑んだ第3泳者の平井瑞希さんがトップに立ち、そのまま1位をキープした。記録は4分3秒92の大会新記録で2連覇を果たした。表彰式で笑顔を見せる優勝した日大藤沢の選手たち、平井さんは「3年生との最後の総体で絶対、大会新を出したかった。チームに貢献できてうれしい」と笑顔だった。学校対抗得点で2連覇を達成した笹目南帆さん(3年)は「今年も優勝しなきゃね」とチームで話していた。勝ち切れて本当にうれしい」と語った。来年度も本校水泳部が3連覇、それ以上の成績が続くことを期待したい。



女子総合優勝

令和5年度

ウエイトリフティング部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

男子総合2連覇!

9名出場し4名がメダルを獲得することができ、団体戦においては、2連覇を達成することができました。団体得点は、89点になります。2位とは1点差です。

◎ 競技結果

67kg級	三井 謙虎 (3年)
トータル記録	244kg 1位
67kg級	佐藤 波瑠 (3年)
インターハイ出場	
73kg級	根本 隆成 (2年)
インターハイ出場	
81kg級	都元 栄寿 (2年)
トータル記録	237kg 5位
89kg級	関口 蓮太郎 (3年)
トータル記録	274kg 2位
89kg級	長田 恵達 (2年)
クリーン&ジャーク競技	136kg 7位
96kg級	木村 駿平 (3年)
クリーン&ジャーク競技	140kg 3位
トータル記録	248kg 4位
+102kg級	佐々木 航 (3年)
トータル記録	283kg 2位
+102kg級	最上 拓斗 (2年)
インターハイ出場	
団体戦	団体得点 89点 2連覇

ウエイトリフティング部がこの夏も圧倒的なパワーを見せつけた。ウエイトリフティングの全国高校総体(インターハイ)が令和5年8月10日(木)～14日(月)にかけて、北海道立別市総合体育館で開かれ全国高校総体の重量挙げ男子で総合優勝を飾り、昨年度に続き2連覇を達成した。個人各階級で優勝1人を含む4人がメダル獲得をし、特に三井謙虎君(3年)が肩まで持ち上げてから頭上に挙げるジャークの3回に133kgのベロを成功させ自己ベストを更新したことである。昨年度で初出場の総体では3回連続で失敗し、記録なしの屈辱を味わった。「雰囲気にもまれてしまった。本当に悔しかった。リベンジを果たさうと」「成功率の向上」をするためにバーベルを肩付近まで挙げるトレーニングを5回を10セット。



毎日のノルマにし、フォームを体に染みこませた。その入念なトレーニングや準備で臨んだ大会、1回目のスナッチは失敗したが2回目のパベルは頭上で静止した。連続で成功

させジャークにも頂点に立った。「頑張ったら頑張った分だけ報われるのがこの競技の魅力」と語った。89kg級の関口蓮太郎君(3年)が2位、96kg級木

村駿平君(3年)が3位、+102kg級の佐々木航君(3年)が2位と続き、総合89点で大会2連覇を飾った。この快進撃を今後も続くことを強く願い、期待したい。

日藤祭 (文化祭) の実施



開会式



開会式



フォトスポット



着物の着付けのコーナー



飲食出店



クラスアトラクション

令和 5 年 6 月 17 日 (土) と 18 日 (日) の 2 日間、日藤祭が行われた。今年度は保護者の方を招待するとともに卒業生も来場することができ、昨年度よりも一層に盛大に行うことができた。

今回のテーマは「彩 (color) Let your colors shine!」であり、それぞれが自分の個性を磨き、色を出し、その一人一人の色を集めた彩りという意味である。生徒・教員が一丸となり、よりよい日藤祭にしようという準備の段階から気迫が見られた。

開会式は体育館で実施され、DJ による司会進行が会場を熱く盛り上げ、吹奏楽部、演劇部、ダンス部によるパフォーマンスも、生徒も声出しすることにより、会場のボルテージが一気に上がった。

この開会式から各ブースでの催物が幅広く展開した。屋外ではダンス部やカラテ部によるパフォーマンス、中パフォーミング、中館内では文化館中心とした豊富な展示があり、昨年度以上に盛り上がりを見せた。また今年度はここ数年行われなかった「ミニ SL」が復活した。運営の業者、生徒会、鉄道研究部の生徒が協力をし、本館入口付近で実施された。中学生、高校生や藤沢小学校の児童も嬉しそうに SL を楽しんでいた。

今年度も「フォトスポット」の設置があり、生徒が楽しそうに撮影をしていた。移動販売もあり、かき氷やクレープがとて人気があった。クラス有志企画も豊富で、スライムをつくるブースや英語だけの話す休憩所のブースなど、生徒が工夫をして、来場者を楽しませた。また着物の着付けのコーナーがあり、校内を回る生徒もいた。屋外ではダンス部のチャ

部門の公演、ヒットホップ部門の公演など大いに盛り上がりを見せた。本館のスタジオに設置された「ストリートピアノ」もあり、生徒が腕前を披露する場面や、それで歌唱する生徒もあり、昨年以上の盛り上がりがあった。

この他にも様々なイベントがあり、部活動の生徒や来場生徒、保護者が見ることができ、ふれることができ、多くの充実した 2 日間であった。

体育祭の実施



マスコットゲーム



キャタピラレース



ソーラン節



色別対抗リレー



障害物リレー



応援合戦



騎馬戦



綱引き

中学第 15 回体育祭が、令和 5 年 10 月 31 日 (火)、高校 69 回の体育祭が 11 月 1 日 (水) にて 2 日間で行われた。今年度も保護者の来場もあり、活気のあるものになった。

今年も新しくかつユニークな競技が行われ、生徒も非常に楽しく取り組んでいた。中学と高校で共通で実施された「ジャンボバトンリレー」は言葉の通り大きなバトンを持ち行うものでこのバトンの重量が軽いだけ、生徒はどうやって持つのかも考えながら走ることもや風の抵抗を大きく受けるので、苦勞しながらリレーをしていた。新種目として「キャタピラレース」を実施し、生徒が円筒形の段ボールの中に入り、前をいくもので、進んでいくもので、前を見ることが非常に難しい所があり、

真つ直ぐに進むことを苦勞している様子が見られた。「障害物リレー」も内容の変更があり、男子二人で行うデカパン部門で走っている姿がとても印象的であった。

毎年恒例で行われている中学 1 年生の創作ダンスでのリズムミカルな動き、中学 2・3 年生のソーラン節は曲に合わせたダイナミックな動きがあり非常に完成度の高いものとなった。高校 2 年生はマスコットゲームが実施され、曲に合わせてピクと白の旗を利用して息のあった動きやウェーブがあった。少ない練習時間で本番に臨んだので演技を終えたときの充実感がとてもあった。

応援合戦も 1 つの目玉で赤・黄色・青の団長と応援団を中心に考えたオリジナルな

ルの応援が行われ、優勝したい意気込みが感じられた。今年度も応援団のみであったので、今後生徒と一緒にできるものに戻してほしいことを願う。

団体競技も白熱しており、「台風の目」ではクラス全員参加の競技であり、授業以外での交流ができる貴重な機会があり、「綱引き」は色別チームによる対抗戦で、大きな盛り上がりがあり、勝者チームは教員によるチームと対戦することになり、応援する側も非

常に熱が入っていた。「騎馬戦」は 3 つのチームが三つ巴で戦うことなので、大将の兜が取られてはいけないうるのもで各々の作戦で挑んだ。これも白熱する戦いであり、勝者チームは輪になって歓喜していた姿はとても印象的であった。「色別対抗リレー」も午前中で予選があり、上位チームが最終種目で決勝戦が行われ、参加生徒や応援生徒も非常に熱の入ったもので大変な盛り上がりがあった。

生徒は限られた時間などで充実したものができたのも運営の中心である体育科の教員や生徒などが準備の段階から当日まで少ない時間で行ったことを感謝したい。今後より良いものにしていくように期待したい。



はばたけ『日大藤沢』期待の星!!



硬式野球部 田上 優弥君
プロ野球 読売巨人軍の育成ドラフト入り



プロ野球の新人選手選抜会議（ドラフト会議）が10月26日、東京都内で開かれ、本校の田上優弥君（3年）が巨人から育成4位指名を受けた。田上君から「早く支配下登録されて、プロで活躍したい」と抱負を語る。

田上君は小学6年で横浜DeNAベイスターズジュニア、中学では神奈川ボーイズに所属し、本校では1年からレギュラーの座を射止め、高校通算11本塁打を記録した。

田上君の持ち味である俊足と強肩、安定した守備でバランスの良い選手として評価が高い。ドラフトでは支配下でのプロ入りはかなわなかったが、将来性から育成指名を得て夢の舞台へ第一歩を踏み出した。

田上君は「指名を受けて安心した」と笑顔。「日大藤沢での3年間があったからこそプロに行ける。個性の強い仲間が多く、チームメイトに感謝しています」と話す。巨人のイメージについて「とても強く選手層も厚い。新人からしっかり活躍していきたい」と意欲を燃やしている。

3年間指導した山本秀明監督は、「攻守共に良いものを持っている、何でもできる選手。1年の時からレギュラーというプレッシャーのなかプレーしてきた」とし、「特に最後の1年は精神的な成長も感じられた。プロでも活躍できるようにがんばってほしい」とエールを送った。

そして10月30日に本校で織田スカウト、森中スカウトから指名あいさつを受けた。

田上君は「少しづつ実感が湧いてきた。しっかり練習して活躍したい。ジャイアンツのユニホームは圧がすごく、着たらもっと重く感じるだろうなと思うが、それを跳ね返せるような選手になりたい」と決意を新たにしている。

1月から開始している新人合同自主トレでは「そこで活躍しなければ、目にしてもうえな」と思う。自分の良さを発揮して、アピールしていきたい。元気でチームを盛り上げるところも自信がある。がむしゃらに、高校生らしくやっていきたい」と力を込めたコメントで、今日も更なる活躍のため、地道に取り組んでいる。





探求レポート1年生・2年生(2年目)



高大連携教育

昨年度から本校では新学習指導要領に基づいた探求の授業が今年度の4月から木曜日の5時間目を利用し、実施がされ、2年目となる。普段の教科の授業ではICTなどを用いたアクティブラーニングを意識した授業が展開されているが、この探求に授業は最初から

生徒たちが考え、お互い議論し、発表していくの自分で考え、その考えを正しく表現する必要がある。生徒も様々な経験、学習をした。高校1年の前半は本校の学校行事である高大連携教育に向けての準備段階である日本大学の学部について資料を作成し、ス

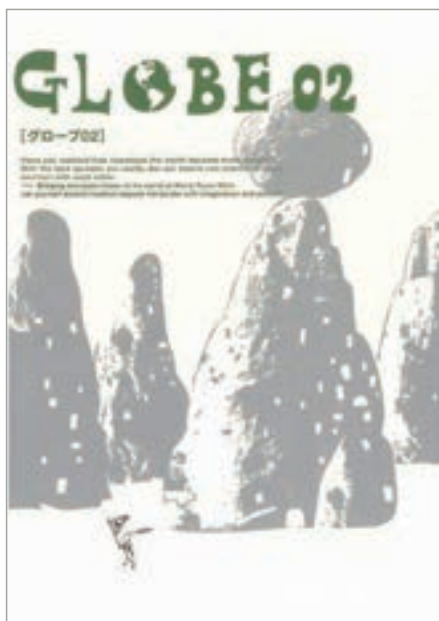
ライドを用いたプレゼンテーションを実施する。そこでは発表を聞いている生徒に、かいての魅力を、に学部のもうたに各々がスライドなどに工夫を凝らし、希望する学部にいき、今後の進路の為に活用をしていく。

後半は「ワールドツアーズ」の企画で、班ごとに世界各国から1つ選択して、オリジナルのガイドブックを作成する。既存のガイドブックとは違い、自身のイメージネーションを大切にするもので、教員からのアドバイスはほとんどなく、とても自由度の高いものを作成する。1からのスタートなので、班で入念に作成するために目的などを決め、それに基づいてPCを用いてリサーチしていく。そして2月末に班ごとでガイドブックを印刷し、それを行う。プレゼンでは国の魅力を知ってもらい、行きたいと思わせることが重要なので生徒達がスライドやガイドブックに様々な工夫をして取り組んでいる。高校2年の前半は北海道の修学旅行の事前学習で、判別自主行動の為にその場所の観光スポットやグルメ、歴史を調べることにより、より身近に北海道を知り、現地に行くことにより更に印象に残るものにしていく。後半は「学校フリーペーパー」の作成、この学年は昨年度にコーポレートアクセス(「教育と探求社」提供のプログラム)

に取り組んだ。企業の説明、アンケート、調査などに取り組み、そして各企業から様々なミッシンを受け取り、取り組みを行って、この昨年度の経験を生かして、

フリーペーパーを作成し、本校の魅力を伝えることを目的としている。自由度の高いもので、本校のことを知っていることが重要で、各クラスの班ご

ちを行い作成に取り組んでいる。今後もこの授業が続いていくので、教科に限らず、様々なことを知り、そして学び、探求すること、継続して自身の向上に努めてほしい。



探求資料(高校1年)



ワールドツアーズガイドブック一例(高校1年)



学校フリーペーパー一例(高校2年)

学校行事について

飯田 章 (平成13年卒)

今年度の5月に新型コロナウイルスが第5類に変わり、様々な学校行事を実施することができた。

授業は通常通り行い、毎日生徒が登校する日常がほぼ戻っている。また学校行事については中学・高校ともに修学旅行ができたことや日藤祭(文化祭)や体育祭も拡大して実施できた。今年度は昨年度よりも拡大して、学校行事などにも本校教職員・生徒会の尽力により行うことができた。

今年度も保護者の参列ができ、生物資源科学部体育館にて行われた。中学生136名(4クラス)、高校生411名(10クラス)が参列した。

授業

今年度は普段通りの授業をすることでき、日常が戻りつつある。しっかりと授業ができることが教師としてやりがいがある。またICT機器を利用して各授業担当者が工夫をしてよりよい授業にすることに努めた。

校外学習

令和5年4月27日(木)に中学・高校の各学年で実施された。中学1年は箱根に行き様々な見学を行い、中学2年と高校2年は「TOKYO GLOBAL GATEWAY」に行き英語で職業体験などを行い、中学3年は鎌倉での班別自主行動を行い修学旅行に備えた。高校1年は「さがみ湖プレジャーフォレスト」、高校3年は「マザー牧場」に行き、コロナで制限されたデイキャンプを実施することになった。



入学式/高等学校



入学式/中学校



校外学習

先生や生徒が小学生に対して授業を行った。授業の内容も先生方の工夫をもとに児童が実践して行うものが多い、充実したものになった。



オープンスクール

高校3年生基礎学力到達度テスト対策講習今年度も令和5年7月21日(金)・27日(木)の土曜日を除く5日間で本校で実施され、多くの生徒が参加した。9月に行われる基礎学力到達度テストに向け、今年度は基礎学力対策テキストを用いて国語・数学・英語・社会・理科の90分4コマの授業が実施された。演習や休み時間を利用して、教員に質問できる環境のため、分らないところを積極的に質問して、学力向上に励んでいた。

また、教科によりブレゼンをする授業もあり生徒が一生懸命に行っている姿も見えた。2学期の11月からは高校3年生が特別授業が開始され、普段の授業ではできないこと、大学に進学する際に必要となることを進路が決定した生徒に教える。また理科では実験を行うことができ、生徒にとってはとても新鮮であった。また一般入試対策の授業を行い、入試に向けて生懸命に取り組む様子が見られた。

オープンスクール

7月と8月に小学4年生から小学6年生を対象とした、オープンスクールが実施された。またこのときは学校説明会も実施された。授業は2時間目まであり、各教科の先生や各部活の顧問の間はコロナ渦の中で運



マラソン大会

生に向けての進路について、講師の講演、本校特進クラスの卒業生の講演、球技大会、林間学校、海外語学研修、外部での芸術鑑賞会などが行われ昨年度以上の充実したものになった。

コロナ渦から約3年が経過して、普段の学校生活に近づいている。学校内の活動が活発になり、部活動についても昨年度よりさらに活動が拡大をしている。この先もずっと平穏で実りのある学校生活であることを祈りたい。また生徒や教職員が二丸となって、より良い学校行事になることも併せて期待したいと思う。

この他にも高校生に向けての日本大学や他大学の説明会、中学

事務局だより

事務局 林 洋平 (平成17年卒)

同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校発展への寄与です。

事業として、同窓会総会や各支部総会と懇親会、同期会・クラス会・クラブOB会などの開催補助金を支給しています。また、母校への支援を全国大会へ出場したクラブへの奨励金の贈呈、卒業時に紅白饅頭配布・同窓会長賞の授与などを行っています。

同窓会役員は、名誉会長・顧問・会長・副会長・常任幹事・監査・事務局の106名です。

マラソン大会

令和6年1月26日(金)に4年ぶりに実施することができた。場所は「こどもの国」で中学全学年と高校1・2年の女子は外周コースを4km、高校1・2年の男子は外周と内周コースを6・4kmを走った。久しぶりの開催で生徒もこの4年間はコロナ渦の中で運

《お知らせ》

同期会、クラス会など実施の際、通信費などの補助金が出ますので事務局まで一報ください。

※開催の日時、場所、出席者人数、領収書などが必要です。

●学校のホームページ
<https://www.fujisawa.hs.nihon-u.ac.jp/>

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校同窓会 役員名簿 (令和5年度～令和6年度)

役職名	氏名	卒業年	役職名	氏名	卒業年	役職名	氏名	卒業年	役職名	氏名	卒業年
名誉会長	楠本 文雄	昭52	同	鴨志田 勲	昭38	同	江口 良二	昭54	同	以西 功司	—
顧問	広田 和夫	昭27	同	畔上 範子	昭38	同	加藤 有一	昭55	同	宇久田進治	昭39
同	水嶋 雅之	昭31	同	川尻 カツ江	昭38	同	北田 隆志	昭55	事務局	木股 伸夫	—
同	大島 正義	昭33	同	岩崎 良春	昭40	同	濱野 正実	昭56	同	中野万里子	—
同	小菅 昭治	昭39	同	米澤 政道	昭40	同	三觜 治彦	昭59	同	山本 秀明	平 1
同	加藤 正美	昭44	同	田淵 秀一	昭41	同	青木 基治	昭59	同	植村 弘	平11
同	坂井 太	昭61	同	平井 審	昭41	同	加藤 孝幸	昭60	同	三武 蒼生	平11
会長	市川 和広	平 2	同	鈴木 徹	昭42	同	石井 幸世	昭61	同	小口 愛	平13
副会長	井上 雅己	昭63	同	関根 直樹	昭43	同	山田 志郎	昭61	同	飯田 章	平13
同	長瀬 英夫	昭36	同	江沢 進	昭45	同	石井 隆	昭61	同	齋藤 俊介	平17
同	大原 春代	昭38	同	藤井 正気	昭45	同	柏田 良典	昭61	同	林 洋平	平17
同	津島 哲夫	昭46	同	山口多喜子	昭47	同	岡 雅恵	昭63	同	佐藤 陽介	平18
同	熊田 成之	昭52	同	関田 周三	昭48	同	佐藤 知一	昭63	同	三木 慎子	平23
同	杉崎 隆之	昭58	同	上田 陽子	昭48	同	石田 智子	平 2	同	黒田三志朗	平24
常任幹事	岡 甫	昭34	同	河村 敏明	昭48	同	笹生美由紀	平 2	同	堀江 恋実	平26
同	佐藤 兼一	昭34	同	平山 信行	昭48	同	角南 一菜	平 2	同	森田 千晴	平26
同	山口 晴義	昭34	同	平井 敏光	昭49	同	山本 昇平	平 2	同	芝田 光希	平26
同	新横 康悦	昭34	同	柴田 博和	昭51	同	吉野 道夫	平 2	支部担当	堀内 景介	—
同	菅井 浩明	昭34	同	原田 亮	昭51	同	草間 裕美	平 4	同	布川 誠	—
同	田中 勝治	昭35	同	加藤 弘	昭51	同	塩沢 次郎	平 4	同	仲島 達也	—
同	田淵 親光	昭35	同	野崎由紀一	昭52	同	島田 博之	平 7	同	苗村 佳則	—
同	松本誠一郎	昭35	同	石井 敦	昭53	同	青木 慶太	平 8	同	振屋 健司	—
同	高橋 正人	昭35	同	下川 幹生	昭53	同	松長由美絵	平 9	同	青木 淳	—
同	高橋 正昭	昭37	同	二ノ宮雅一	昭53	同	長田悠太郎	平17	同	島袋 匡継	—
同	飯田 昌巨	昭38	同	猪俣 浩範	昭54	同	高橋 普子	平23	—	—	—
同	相澤 實	昭38	同	小玉 徹	昭54	同	秋本 英二	—	—	—	—
同	三觜 英雄	昭38	同	河上 延博	昭54	監査	渡辺 博	—	—	—	—

日大藤沢同窓会各支部長および支部担当教員名簿

支部名	役職名	氏名	卒業年
西湘支部 昭和63年設立	支部長	田淵 秀一	昭和41年
	担当教諭	佐藤 陽介 黒田三志朗	平成18年 平成24年
横須賀支部 平成 5年設立	支部長	河村 敏明	昭和48年
	担当教諭	苗村 佳則 三木 慎子	— 平成23年
藤沢支部 平成 8年設立	支部長	石井 敦	昭和53年
	担当教諭	齋藤 俊介 島袋 匡継	平成17年 —
鎌倉支部 平成 8年設立	支部長	飯田 昌巨	昭和38年
	担当教諭	飯田 章 小口 愛	平成13年 平成13年
茅ヶ崎支部 平成 9年設立	支部長	二ノ宮雅一	昭和53年
	担当教諭	植村 弘 振屋 健司	平成11年 —
横浜支部 平成13年設立	支部長	山田 志郎	昭和61年
	担当教諭	堀内 景介 森田 千晴	— 平成 8年
湘南支部 平成14年設立	支部長	井上 雅己	昭和63年
	担当教諭	仲島 達也 青木 淳	— —
名誉会長		楠本 文雄 (校長)	
監査		渡辺 博 (高校教頭) 以西 功司 (中学教頭)	

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校 教員名簿 (令和6年1月31日現在・アイウエオ順)

講師は専任級です。
※名簿の内容は変更になる場合がございます。

役職	担当教科	氏名	着任年	役職	担当教科	氏名	着任年	役職	担当教科	氏名	着任年	役職	担当教科	氏名	着任年
校長	保健体育	楠本 文雄	昭和 58	教諭	理 科学	小口 愛	平成 24	教諭	保健体育	島袋 匡継	令和 3	教諭	数 学	福田 一博	平成 29
高校教頭	数 学	渡辺 博	昭和 61	教諭	数 学	加藤寿美子	平成 13	教諭	数 学	末成 祐貴	令和 2	教諭	数 学	振屋 健司	平成 27
中学教頭	英 語	以西 功司	平成 8	教諭	英 語	加藤 達哉	平成 15	教諭	英 語	杉山健太郎	令和 4	教諭	英 語	星 純介	平成 20
教諭	英 語	青木 淳	平成 30	教諭	英 語	鎌田 守	令和 2	教諭	英 語	高木けい子	平成 14	教諭	英 語	堀内 景介	平成 20
教諭	英 語	安孫子知広	平成 9	教諭	英 語	菊地 さやか	平成 20	教諭	英 語	高橋 魁人	平成 31	教諭	英 語	堀江 恋実	令和 3
教諭	英 語	飯田 章	平成 21	教諭	英 語	北島 寛明	平成 25	教諭	英 語	戸井田 望	平成 21	教諭	英 語	増山 千尋	平成 26
教諭	英 語	池田 直哉	平成 19	教諭	英 語	黒田三志朗	令和 2	教諭	英 語	苗村 佳則	平成 22	教諭	英 語	松浦 淳	平成 23
教諭	英 語	石井 猛	平成 4	教諭	英 語	越山 裕	平成 4	教諭	英 語	長岡 正浩	平成 16	教諭	英 語	松村美和子	平成 23
教諭	英 語	利春	平成 14	教諭	英 語	国府方雅晴	令和 元	教諭	英 語	長澤 希	平成 26	教諭	英 語	三木 慎子	平成 28
教諭	英 語	瑛子	令和 4	教諭	英 語	小杉 翔一	平成 27	教諭	英 語	仲島 達也	平成 29	教諭	英 語	三武 蒼生	平成 20
教諭	英 語	今井村直子	昭和 61	教諭	英 語	近藤 千津子	令和 3	教諭	英 語	永塚 桂子	平成 13	教諭	英 語	三武 陽子	平成 19
教諭	英 語	上田 泰輔	平成 22	教諭	英 語	齋藤 俊介	平成 24	教諭	英 語	西村 薫	平成 27	教諭	英 語	森田 周二	昭和 59
教諭	英 語	上野 尚輝	令和 3	教諭	英 語	佐々木 弦	平成 9	教諭	英 語	布川 誠	平成 26	教諭	英 語	保田 千晴	令和 4
教諭	英 語	植村 弘	平成 18	教諭	英 語	佐々木 孝徳	平成 23	教諭	英 語	沼尻 和明	平成 11	教諭	英 語	山本 健雄	令和 2
教諭	英 語	薄井 教靖	平成 16	教諭	英 語	佐々木 史	平成 18	教諭	英 語	根岸悠治郎	平成 21	教諭	英 語	山本 光希	平成 20
教諭	英 語	大田 基	平成 28	教諭	英 語	佐藤 輝勝	平成 17	教諭	英 語	服部 幸	平成 24	講師(専任級)	英 語	芝田 光希	令和 5
教諭	英 語	岡田 有未	平成 24	教諭	英 語	佐藤 陽介	平成 22	教諭	英 語	林 洋友	平成 25	常勤	英 語	松尾 洪平	令和 3
教諭	英 語	大桃 史	平成 11	教諭	英 語	佐藤 亮	平成 17	教諭	英 語	林 深澤	平成 28	—	—	—	—
教諭	英 語	岡本 史	令和 2	教諭	英 語	柴本 陽平	平成 31	教諭	英 語	—	—	—	—	—	—